

第 12 章	社会(歴史)	名前:	日 付	No.03
	世界 2			

[問題 1]

以下の設問に答えなさい。

(1) イギリスから独立したアメリカでは、自由貿易や奴隷制をめぐり、1861 年に内戦がおこった。

この内戦を何といいますか。

(2) (1)の内戦中、ゲティスバーグで演説した大統領はだれですか。

(3) (2)の大統領は民主主義政治について有名な言葉を述べた。それを書きなさい。

[解答欄]

(1) 南北戦争	(2) リンカーン	(3) 人民の、人民による、人民のための政府
----------	-----------	------------------------

[解説]

[アメリカ]
1861年 南北戦争
リンカーンの 奴隷解放宣言
「人民の、人民による、人民のための政府」

アメリカでは、自由貿易や奴隷制をめぐって北部と南部が対立していた。

早くから商工業が発達していた北部は、その保護のため、輸入品に高い関税をかけることを求めた。

また、工場労働者を確保する必要もあって、黒人奴隷の解放をとらえた。

これに対し、南部は、綿花などの農産物の輸出をさかんにするために、輸入品の関税を高くすることに反対した。

また、南部では綿花の栽培が行われていたが、綿つみのためにアフリカから連れてこられた黒人を奴隷として使っていたので、奴隷制を守ろうとした。

北部の立場を代表するリンカーンが大統領に当選すると、南部は合衆国からの分離を宣言し、1861 年、南北戦争が起こった。北部側の大統領リンカーンは、奴隷解放宣言を出した。

[問題 2]

18 世紀から 19 世紀にかけての欧米諸国についての文を読み、各問いに答えなさい。

- A この国は、軽くて美しいインド綿布に対抗して、自国内で良質の綿糸・綿布をつくるために、技術革新を行い、蒸気による機械の実用化により工場で大量に綿布を生産した。また様々な産業発展により人々の生活は大きく変化した。
- B 皇帝の専制政治が続き、たえず南に勢力をのぼしていった(南下政策)。また近代化の必要性から農奴を解放した。
- C 自由貿易や奴隷制をめぐり内戦をおこなったこの国は、大陸横断鉄道を開通させ、国力の充実をはかり成長した。
- D 富国強兵をすすめたこの国はやがてフランスと戦い、その後統一した帝国をつくった。

- (1) A～D の国名を答えなさい。
- (2) A の下線部の変革を何というか、答えなさい。
- (3) A の国では世界でもっとも早く資本主義経済のしくみを完成させた。この経済の説明をした次の文の①、②にあてはまる適切な語句を答えなさい。
- 生産のもとでになる(①)を持つ者が、(②)をやとって生産をするしくみが広まった。
- (4) C の内戦は 1861 年に始まった。この戦争名を答えなさい。
- (5) C の内戦中、この国の大統領は次の演説をおこなった。次の演説の一部の英文を訳しなさい。

Government of the people, by the people, for the people

- (6) (5)の演説をおこなった大統領を答えなさい。
- (7) D の下線部をすすめた政策を何というか答えなさい。

[解答欄]

(1)A イギリス	B ロシア	C アメリカ	D ドイツ
(2) 産業革命	(3)①資本	②労働者	(4) 南北戦争
(5) 人民の、人民による、人民のための政府		(6) リンカーン	(7) 鉄血政策

[解説 1]

[アメリカ] 1861年 南北戦争 リンカーンの 奴隷解放宣言 「人民の、人民による、人民のための政府」

アメリカでは、自由貿易や奴隷制をめぐって北部と南部が対立していた。

早くから商工業が発達していた北部は、その保護のため、輸入品に高い関税をかけることを求めた。

また、工場労働者を確保する必要もあって、黒人奴隷の解放をとらえた。

これに対し、南部は、綿花などの農産物の輸出をさかんにするために、輸入品の関税を高くすることに反対した。また、南部では綿花の栽培が行われていたが、綿つみのためにアフリカから連れてこられた黒人を奴隷として使っていたので、奴隷制を守ろうとした。

北部の立場を代表するリンカーンが大統領に当選すると、南部は合衆国からの分離を宣言し、1861 年、南北戦争が起こった。北部側の大統領リンカーンは、奴隷解放宣言を出した。

[解説 2]

イギリス:「世界の工場」、二大政党政治
 ドイツ :ビスマルクの鉄血政策
 ロシア :クリミア戦争で敗北→農奴解放

イギリスでは産業革命後、資本を持つ者が労働者を雇って生産を行う資本主義経済のしくみができあがった。イギリスは「世界の工場」とよばれ世界経済の中心になり、経済力を背景に自由主義が広まり、保守党と労働党による二大政党政治が行われた。

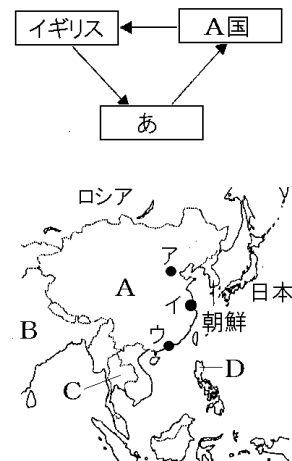
遅れて近代化を始めたドイツは、鉄血宰相といわれた **ビスマルク** の指導のもと、**工業化の進んだ軍事大国をめざす** 富国強兵策(**鉄血政策**)を進めた。

ロシアは皇帝の専制政治が続いた。1853 年、ロシアはイギリス・フランスと **クリミア戦争** で戦って敗れたが、その後、近代化の必要性を痛感し **農奴解放** を行った。

[問題 3]

次の各問いに答えよ。

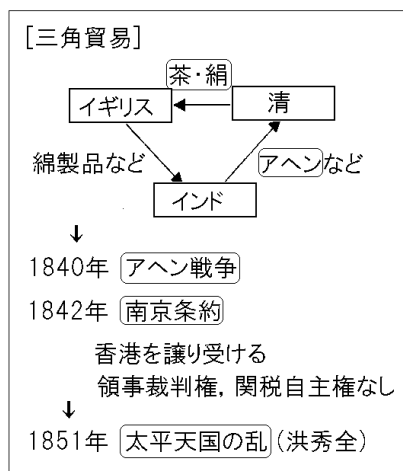
- (1) 地図中の A の国を何というか。
- (2) 右の図の「あ」にあてはまる国を地図中の B～D から選び、記号を書け。
- (3) 右上の図で①A 国からイギリスへ輸出されたもの、②イギリスから「あ」へ輸出されたものを書け。
- (4) ①1840 年に A 国でおきた戦争は何というか。
 ②また、その結果結ばれた条約は何というか。
- (5) (4)で答えた条約でイギリスが獲得した場所を地図中のア～ウから選び、
 ①記号を書け。②また、その地名も答えよ。



[解答欄]

(1) 清	(2) B	(3)①茶や絹	②綿布などの工業製品
(4)①アヘン戦争	②南京条約	(5)①ウ	②香港

[解説]



イギリスは清から茶や絹を輸入し、大幅な輸入超過であった。そこでイギリスは、綿製品などの工業製品をインドへ売り込み、インドで作らせたアヘンを清に密輸で売り込む三角貿易を行った。

アヘン患者が増加し、貿易赤字が大きくなった清はアヘンの輸入を禁止した。これに対し、1840 年イギリスは艦隊を送り清を屈服させた。これをアヘン戦争という。

1842年に南京条約が結ばれて、イギリスは清から香港を譲り受けた。南京条約は、領事裁判権(治外法権)(外国人が犯罪を犯しても清は裁判をする権利がない)を認め、関税自主権(輸入品の関税率を定める権利)が清にないことを内容とする不平等条約であった。

アヘン戦争後、賠償金支払いなどのために清は農民に重税を課したので、洪秀全を指導者とする反乱がおこり、反乱軍は太平天国という国を建てた。清は14年がかりでこの反乱を抑えた。

[問題 4]

次の各問いに答えよ。

- (1) アヘン戦争ののちに、1851年に中国南部で反乱を起こした人物は誰か。
- (2) (1)の人物が建てた国を何というか。

[解答欄]

(1) 洪秀全	(2) 太平天国
---------	----------

[問題 5]

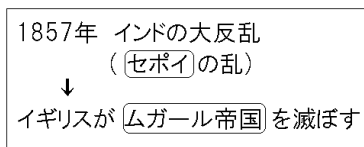
次の各問いに答えよ。

- (1) 清と同じようにイギリスによって植民地にされ、三角貿易に利用されたアジアの国はどこか。
- (2) (1)で、300年ほど続いていたが、イギリスによってほろぼされた帝国を何というか。
- (3) 1857年、(2)でイギリスの植民地支配に反対して起こった反乱を何というか。

[解答欄]

(1) インド	(2) ムガル帝国	(3) インドの大反乱(セポイの乱)
---------	-----------	--------------------

[解説]



イギリスの東インド会社に雇われていたセポイというインド兵が反乱をおこし、農民なども加わって反乱は全国に広がった。これをインドの大反乱(セポイの乱)という。

これを鎮圧したイギリスはムガル帝国を滅ぼし、インドをイギリスの領土とした。

[問題 6]

次の各問いに答えなさい。

- (1) 1857年のインドの大反乱をおこしたインド兵のことを何といいますか。
- (2) この反乱ののち、イギリスは何という国を滅ぼし、インドを植民地にしましたか。

[解答欄]

(1) セポイ	(2) ムガル帝国
---------	-----------